

ともに生きる

共生

小学校高学年

中学校

高校

社会

学級活動

道徳

ハートネットTV

29分

シリーズ「暮らしと憲法」 第1回 女性

(2017年放送)

この番組の良さ



22歳のアメリカ人女性が作成した第24条

『婚姻は、両性の同意のみに基づいて成立し…』の条文の原案は、22歳のアメリカ人女性ベアテ・シロタ・ゴードンが作成したものです。小さい頃に日本人女性が結婚相手を自分で決められないことに驚き、日本の女性の権利を守らなければならないという考えに至りました。一人のアメリカ人女性が日本の女性のために奮起した、その行動力と生き方を学ぶことができます。

現代社会の現状から男女平等を考える

女性は妊娠・出産による離職が多く、また増加する非正規雇用者の約7割を占めています。これから進路を選択する中高生にとっては、自分の将来に関わるため、より緊迫感をもってこれらの事象を考察できます。現代社会の問題を浮かび上げ、より良い社会を築くための深い議論が可能となることでしょう。

番組活用のポイント

日本国憲法の条文はいかにして生まれたか。一人のアメリカ人女性の努力を知る

日本国憲法第24条の条文の原案は22歳のアメリカ人女性が作成しました。その内容は、日本人女性の地位の向上を目指し、従来よりも女性の権利を大幅に拡大したものです。ベアテは幼少の頃から、日本の女性が男性よりも低い地位にあることを見知っていました。彼女は22歳でGHQの憲法原案作成スタッフになり、この知見を生かしてワイマール憲法などを参考にしながら、両性の本質的平等、男性と女性の給料の平等などの原案を作成します。そして両性の本質的平等や『法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。』などの条文が生まれました。日本を外国人の目から見たこと、また多くの言語に精通したベアテという女性の見識の高さが、この条文を成立させたといえます。もし、この時にベアテの原案がそのまま生かされていたら、もしベアテがこの委員になっていなかったら、日本の女性の権利はどうなっていたのかを考察させるのもよいでしょう。

現代日本では男女平等といえるか。キャリア教育の視点から考えさせる

「就活では男性の方が早く決定する」、「妊娠を機に会社をやめた」などの女性の声から、就職における男女平等はどうあるべきか考えることができます。また、非正規雇用者が全体の約4割を占め、その7割を女性が占める現実、収入の低さから生活の不安を口にする女性の話などから、正社員になれない女性が多くいることが、現代日本の大きな問題であることを捉えられるでしょう。さらに、全国には無戸籍の子供が688人いて、民法の規定が女性を守る条文になっていないことも専門家から指摘されます。法改正も視野に入れて、男女平等を実現するために私たちができることは何かを考えさせることができます。

学習展開例

対象校種：中学校 授業時間 ⌚⌚ 100分
対象教科：学級活動



能代市立
能代南中学校
教諭 嵯峨静人

新着

第24条はいかにして作られたか 男女平等を実現するには？

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>現在日本では男女平等か？</p> <p>平等 不平等</p> <p>日本国憲法24条の条文は22歳のアメリカ人女性が考えた。どのように作ったのだろう？</p> <p> 番組部分視聴（43秒～10分38秒） ベアテが憲法原案を作成した当手を回顧</p> <p>ベアテの憲法草案と24条の条文を比較する</p> <p>今の日本の現状は？</p> <p> 番組部分視聴（10分38秒～21分15秒） 32年間戸籍のなかった無戸籍女性</p> <p>非正規雇用の7割を占める女性 無戸籍の人を生んできた民法の条文は、今もそのまま</p> <p>どうしたら男女平等を実現できるだろうか？</p> <p>男女雇用機会均等法が成立したのは施行されてから39年目のこと。法律上、労働における男女平等は実現したが、実態はまだ不平等が残っている。また、民法には男女平等に反する部分があると指摘する専門家もいる。</p> <p>社会や家庭で男女平等を意識して生きていきたい</p>	<p>○男女平等が進んでいる国ランキングで日本は150か国中第114位（2016年）であることを話し、本時への興味付けを図る。</p> <p>○現在日本では男女平等かどうかを尋ねる。</p> <p>○第24条とベアテの写真と年齢を提示する。</p> <p>○必要に応じてメモを取るよう声掛けする。</p> <p>○番組を視聴してわかったこと、感じたことをグループで共有する。</p> <p>○番組に取り上げられた問題の解決策を考える場を設定し、学級全体で交流する。</p> <p>【思考・判断・表現】 憲法には男女平等の理念がうたわれているが現実にある問題を知り、解決策を考えることができたか。</p>

授業の流れ